

サーキュラー エコノミー を創る

ヒデ・カスガ・グループ
代表

春日 秀之 12

世界は今、環境と経営の両立が必要な時代になった。世界の経済は先進国中心に天然資源をもとに大量生産、大量消費、そして大量廃棄の線型経済（リニアエコノミー）の時代を経て資源枯渇と環境破壊といった二つの重大な社会問題を引き起こした。この問題を解決するために、欧州を中心にした循環型経済（サーキュラーエコノミー、以下CE）という名の社会経済システムが普及が進んでいる。日本企業もグローバルスタンダードとなったCEを前提とし

た経営の実践が必須である。CEとブランディングの検討を進めているが、価格が従来の石油由来プラスチックに比べて2〜10倍と高く、適映でき、持続的な価格設定を可能にする。環境型プロダクトの自動車メーカー関係実装化がとりわけ早い。ドイツとフランスには明確な理由がある。開発者としてポルシェとルイヴィトンのプロダクトにも有効だと理解している。調達コストが高いため利益率が低い。ドイツはポルシェをフラッグシップとして自動車のブランド大国であり、フランスはV M Hグループを中心

■筆者略歴■工学博士。サーキュラーエコノミーの構築を推進する「ヒデ・カスガ・グループ」代表。環境調和型ブランド「BLANC BIJOU PARIS®」「hide k 1896®」の創業者兼オーナー。環境調和型の素材・プロダクトの開発から循環型スキームの構築まで一貫して行っている。新旧融合型の生活様式「令和モダニズム®」の提唱者。信州大学特任教授、早稲田大学客員講師。

めている。ことに日本経済の課題が見える。日本がCEを構築するには、高利益率を生み出す製品、つまり「ブラン」の創出が必要である。この日本経済の課題が見える。両国の共通点は、技術的には世界トップレベルで、欧州を代表する文化大国、そしてコスト競争を避けて、より差別化を図ること

さしいものは価格が高いため、意識も所得も高い層から環境に配慮した生活を取り入れる必要がある。日本では循環型プロダクトを普及させるには、国民全体の意識を高めるだけでなく、購入できる所得向上が必須である。つまり、企業も消費者も高い収入（所得）がなければ、CEの実装化はむずかしい。

高度な「技術力」と、歴史と文化が育んだ「感性」が融合した独自の生活様式のことである。その軸となるのは産業界であり、学術界や行政には積極的にサポートをしよう。特に、ブランディングを行う人材育成は急務である。これからの子供たちが、それぞれの資質や能力を存分に発揮できる教育体制や社会を構築することで、イノベーターをもっとも増やしていきたい。（おわり）

サーキュラーエコノミーにはロマンを

今のように、過去30年間、GDPも賃金も物価もほぼ横ばいの国では、ハンディキャップが大きい。企業が付加価値を高めることで、私には、日本が意図的に、Cを増やすことができない。日本は、CEの実装化も加速的に浸透している。日本におけるCEの実装化は新しいビジネスチャンスに繋がっており、世界が待望している日本ブランド

環境型プロダクトの自動車メーカー関係実装化がとりわけ早い。ドイツとフランスには明確な理由がある。開発者としてポルシェとルイヴィトンのプロダクトにも有効だと理解している。調達コストが高いため利益率が低い。ドイツはポルシェをフラッグシップとして自動車のブランド大国であり、フランスはV M Hグループを中心

環境型プロダクトの自動車メーカー関係実装化がとりわけ早い。ドイツとフランスには明確な理由がある。開発者としてポルシェとルイヴィトンのプロダクトにも有効だと理解している。調達コストが高いため利益率が低い。ドイツはポルシェをフラッグシップとして自動車のブランド大国であり、フランスはV M Hグループを中心

環境型プロダクトの自動車メーカー関係実装化がとりわけ早い。ドイツとフランスには明確な理由がある。開発者としてポルシェとルイヴィトンのプロダクトにも有効だと理解している。調達コストが高いため利益率が低い。ドイツはポルシェをフラッグシップとして自動車のブランド大国であり、フランスはV M Hグループを中心

環境型プロダクトの自動車メーカー関係実装化がとりわけ早い。ドイツとフランスには明確な理由がある。開発者としてポルシェとルイヴィトンのプロダクトにも有効だと理解している。調達コストが高いため利益率が低い。ドイツはポルシェをフラッグシップとして自動車のブランド大国であり、フランスはV M Hグループを中心

環境型プロダクトの自動車メーカー関係実装化がとりわけ早い。ドイツとフランスには明確な理由がある。開発者としてポルシェとルイヴィトンのプロダクトにも有効だと理解している。調達コストが高いため利益率が低い。ドイツはポルシェをフラッグシップとして自動車のブランド大国であり、フランスはV M Hグループを中心